

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人片柳学園		平成25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
目的	建築・住宅・インテリアの専門家の育成をめざし、それぞれの分野に関する総合的な知識、専門的な技術、技術者として必要な理論等について学び、卒業後に最短2年間の実務経験で一級建築士に合格ができるよう必要な専門性の高い知識と高度な技術を身に付けることを目的としている。さらに放送大学との併修制度により教養学を履修することで学士の資格も取得可能です。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工科技術専門課程		建築学科		-	平成23年文部科学省告示第170号	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3525	2415	0	3510	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
160人		215人		4人		16人	
総教員数		20人					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価			
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日に担任から電話等で連絡することとし、状況に応じて数日続いた時点で保護者連絡するなどの指導をしている。			課外活動			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 株式会社大林組 清水建設株式会社 飛鳥建設株式会社 株式会社大林デザインパートナーズ 株式会社三栄建築設計 株式会社ピーディーシステム 株式会社ライフ設計事務所 大和ハウス工業株式会社 ■就職率 ^{※1} : 97% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 88.9% ■その他 学士取得者 27名 (平成27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報)			■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有 主な資格・検定等 ビジネス能力検定ジョブパス3級 福祉住環境コーディネーター検定3級 商業施設士補 商業施設士 2級建築施工管理技術検定			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 ■中退率 3.9% 平成27年4月1日時点において在学者 179名 (平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において在学者 172名 (平成28年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由(学費の支払いが困難)、病気、意欲喪失 ■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。						
ホームページ	http://www.neec.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 企業等と連携体制を確保して、授業科目等の開設、その他の教育課程を編成する。そのため、校内の実習設備や施設等を活用し、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導や評価を受けることができる体制をとることが可能な企業等を建設業界より選定している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。
 本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
岡本 賢	一般社団法人 日本建築美術工芸協会 会長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	①
藤本 和典	株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム 部長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
出口 賢一	株式会社久米設計 業務本部企画部主管	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
田村 隆久	株式会社田中建設 総務部次長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
上田 耕作	日本工学院八王子専門学校 科長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
山田 俊之	日本工学院八王子専門学校 主任	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部課長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年度毎に2回(春、夏)に開催

(開催日時)

第1回 平成28年3月11日(金) 15:00～17:00

第2回 平成28年8月 3日(水) 10:00～12:00

第3回 平成29年3月 8日(水) 10:00～12:00 (予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員会で出た意見を基に、半期ごとの講師会や学年ごとの科目分科会において変更したカリキュラムの説明、及び成果の確認を行っている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1年次「設計製図1」、2年次「建築CAD3」、3年次「設計計画1」において、建築設計に必要な広範な知識、実務に必要とされる設計技法、建築現場における実務的訓練等についての業界の情報等に基づき、課題設定、実習計画を策定している。また、実践的な課題制作を行うために、建築業界等に精通し、専門的かつ実践的な知識、技術を持った講師派遣等の協力が得られることが可能な企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
設計製図1	線の練習、文字の練習から始まり計図記号の書き方やスケールの考え方、製図道具の使い方など、製図の基礎を学習する。特に図面トレースと模型制作を繰り返して、製図に慣れて図面表現が自由に行えるようにする。	有限会社 リノベイトダブリュ
建築CAD3	CAD/CGソフトを使用し、建築の三次元モデルで作成した空間を使ったシミュレーションや形態の検討を行います。また最新のプレゼンテーションを行うために、三次元モデルを基に映像の作成方法なども学ぶ。	一級建築士事務所 インターコア
設計計画1	実践的な課題を通して、総合的に建築の計画、設計手法について学びます。	一級建築士事務所 HIDA建築事務所

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・平成28年 4月26日(火)ペーパーレススタジオジャパン勝目氏をCAD授業の特別講師でお招きし【BIM】に関する最新動向を学んだ。
・平成28年 8月28日(水)大東建託本社打ち合わせ室にて、業界の状況について伺い、産学連携課題打ち合わせを行った。

②指導力の修得・向上のための研修等

平成28年3月30日「夜回り先生」水谷修氏の講演を聞き、学生指導の知見を得た。
平成28年8月2日(10時～18時)模擬授業、及びアクティブラーニングの研修を実施、指導力の向上を図った。実践編として火星移住をテーマにグループワークを通じ、アクティブラーニングについて学んだ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・平成28年3月(予定)
【BIM】について、講師を招き最新の建設業界の動向を知ると共に、基本操作の習得等でスキル向上を図る。

②指導力の修得・向上のための研修等

・平成28年3月(予定)
学力差のある学生への指導における学生理解、学生支援に関する研修報告を受け、ワークを通じてスキル向上を図る。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。
学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3)教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4)学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5)学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6)教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8)財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9)法令等の遵守	(32)関連法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

「学生の主体的参加」、「仲間と深く考え課題を解決する力の育成」を目的としたグループワークの実施に関する意見を受け、3年次後期科目【設計計画2】では「八王子まちづくりプロジェクト」を計画し、八王子市の調査、問題発見、課題解決に向けて学生同士がグループワークを進めており、今後、行政に提案する目標を定め、教員・講師・学生が一体となり作業している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	地域関連
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	デザイン企業等委員
一瀬 康剛	株式会社アトム精密 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会 理事長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	スポーツ企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	医療企業等委員
榑原 直哉	八王子市私立保育園協会 (藤井保育園副園長)	平成28年7月1日～ 平成29年3月31日(9ヵ月)	医療・保育団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 平成28年9月12日
URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、平成27年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

授業科目等の概要

（工科技術専門課程 建築学科）平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	ビジネススキル	自分の適性を理解し、社会人としての心構えについて学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			スポーツ実習1	様々なスポーツの実習を開講します。	1・後	30	1			○		○	○		
○			外国語1	テクノロジー分野の英語や中国語などの基礎を学びます。	1・前	30	2	○	△		○			○	
○			建築計画1	建築を計画し、デザインするための基礎知識に加え、バリアフリーなど必要とされている分野についても学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			建築計画2	住宅建築およびオフィス、店舗などの商業建築の計画手法について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			建築一般構造1	建築構造の種類、構造材の種類および木造建築の構造を中心に学びます。	1・前	45	3	○			○		○		
○			建築一般構造2	鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造などの構造を中心に学びます。	1・後	45	3	○			○		○		
○			構造力学1	安全な建物を設計するための構造計算の基礎について学びます。	1・後	45	3	○			○		○		
○			建築生産1	木造在来工法と鉄筋コンクリート造の施工方法について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			建築材料	木材、石材、コンクリート、金属、ガラスなどの材料特性について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			建築・インテリア入門	建築・インテリアの概念および建築倫理などについて幅広く学びます。	1・前	45	3	○			○			○	
○			建築設備	快適な空間づくりのために必要な設備の基本について学びます。	1・後	45	3	○			○		○		
		○	福祉住環境コーディネーター対策	福祉住環境コーディネーター資格の試験に対応した演習問題を中心に組みます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			設計製図1	図面トレース、模型制作を通じて設計製図の基礎について習得します。	1・前	90	3			○	○			○	○
○			設計製図2	建築図面の機能と読み方、図法の種類について基礎的な事項を学び、設計製図の知識を独立住宅などの設計演習課題を通して学びます。	1・後	90	3			○	○			○	
○			建築CAD1	コンピュータの基礎的な操作と製図の基礎を習得します。	1・前	45	1			○	○		○		

○		建築CAD 2	2・3次元CADを活用し、平面図・立面図などの設計図の基礎的な作成方法を習得します。	1・後	45	1				○	○	○		
	○	建築演習 1	建築に関する総合的演習を行います。	1・前	30	1				○	○	○		
	○	建築演習 2	建築に関する総合的演習を行います。	1・後	30	1				○	○	○		
○		図学・基礎デザイン	デッサン、平面構成図法、パースの作成などを通して、造形的・色彩的センスを養います。	1・前	45	1				○	○		○	
	○	海外デザイン研修 1	海外におけるデザイン動向を現地で体験・学習します。	1・通	30	1				○		○	○	
	○	教養学 1	放送大学の指定科目を学びます。	1・前	30	2	○				○			○
	○	教養学 2	放送大学の指定科目を学びます。	1・前	30	2	○				○			○
	○	教養学 3	放送大学の指定科目を学びます。	1・後	30	2	○				○			○
	○	教養学 4	放送大学の指定科目を学びます。	1・後	30	2	○				○			○
○		スポーツ実習 2	様々なスポーツの実習を開講します。	2・後	30	1				○		○	○	
○		外国語 2	テクノロジー分野の英語や中国語などの基礎を学びます。	2・前	30	2	○	△			○			○
○		建築計画 3	学校、図書館などの公共施設の計画手法について学びます。	2・前	30	2	○				○		○	
○		構造力学 2	構造的に安全な建物を設計するために、静定構造及び不静定構造の力学的仕組みについて学びます。	2・前	45	3	○				○		○	
○		建築生産 2	鉄骨構造やコンクリートブロック構造、建物の工事の流れや仕上げ工事について学びます。	2・前	30	2	○				○		○	
○		建築法規 1	建築を安全・快適に設計するための法規の基礎について学びます。	2・前	45	3	○				○		○	
○		建築法規 2	建築の大きさ・高さなどルールや、建築士・建設業者が守るべき規則について学びます。	2・後	45	3	○				○		○	
○		建築史	建築様式を系統的に学び・美意識の変遷、デザインと建築技術の関係を理解します。	2・後	30	2	○				○		○	
○		環境工学	光、音・熱、空気などの室内環境に関わる基礎的な知識と建築計画への応用について学びます。	2・後	45	3	○				○		○	
○		建築積算	設計図書や仕様書の内容および各種経費などの積算・見積に関する基礎的な知識を学びます。	2・後	30	2	○				○		○	
	○	施工管理技術者資格対策	2級施工管理技術検定試験の学科試験に対応した演習問題を中心に取り組みます。	2・前	60	4	○				○		○	
	○	建築士資格対策	2級建築士試験に対応した演習問題を中心に取り組みます。	2・後	90	6	○				○		○	

○		設計製図 3	RC造・S造等の建築物の課題に取り組み、総合的な手法・技術を演習を通して学びます。実務に必要な知識と設計手法を習得します。	2・前	90	3				○	○			○	
○		設計製図 4	2年間学んだことを基礎に、都市、各種建築物などの設計を中心にまとめます。	2・後	90	3				○	○			○	
○		建築CAD 3	2・3次元CADを活用し、実務的な建築設計図の作成方法を実践的に習得します。	2・前	45	1				○	○			○	○
○		建築CAD 4	CAD/CGソフトを使用し、3次元モデルや映像を作成します。	2・後	45	1				○	○			○	
		○ 建築演習 3	建築に関する総合的演習を行います。	2・前	60	2				○	○			○	
		○ 建築演習 4	建築に関する総合的演習を行います。	2・後	30	1				○	○			○	
○		材料実験	主要な建築材料の力学的性質を実験により学びます。	2・前	30	1				○	○			○	
○		測量実習	距離・水準・角度などの測量の方法を習得します。	2・前	30	1				○	○			○	
		○ 建築設計実習 1	建築設計のコンセプトのまとめ方や表現技法などを演習を通じて身につけます。	2・前	45	1				○	○			○	
		○ 建築設計実習 2	建築設計のコンセプト、デザインを表現するためのプレゼンテーション技法を演習を通して習得します。	2・後	45	1				○	○			○	
		○ インテリア設計実習 1	インテリア設計のコンセプトのまとめ方や表現技法などを演習を通して身につけます。	2・前	45	1				○	○			○	
		○ インテリア設計実習 2	インテリア設計のコンセプト、デザインを表現するためのプレゼンテーション技法を演習を通して習得します。	2・後	45	1				○	○			○	
		○ 建築構造・設備実習 1	構造設計に必要な基礎知識、照明・配線など電気設備の基礎について学びます。	2・前	45	1				○	○			○	
		○ 建築構造・設備実習 2	建物を建てるために必要な構造図面、設備図面の読み方、描き方について習得します。	2・後	45	1				○	○			○	
		○ 建築施工実習 1	建築工事のプロセスや建築現場見学を通して、建築施工の技術を習得します。	2・前	45	1				○	○			○	
		○ 建築施工実習 2	建築工事のプロセスや現場見学を通して、建築施工の応用技術を学びます。	2・後	45	1				○	○			○	
		○ 海外デザイン研修 2	海外におけるデザイン動向を現地で体験・学習します。	2・通	30	1				○		○	○		
		○ 教養学 5	放送大学の指定科目を学びます。	2・前	30	2	○				○			○	
		○ 教養学 6	放送大学の指定科目を学びます。	2・前	30	2	○				○			○	
		○ 教養学 7	放送大学の指定科目を学びます。	2・前	30	2	○				○			○	
		○ 教養学 8	放送大学の指定科目を学びます。	2・前	30	2	○				○			○	

		○ 教養学 9	放送大学の指定科目を学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
		○ 教養学 10	放送大学の指定科目を学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
		○ 教養学 11	放送大学の指定科目を学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
		○ 教養学 12	放送大学の指定科目を学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
○		高度建築計画	計画原論、都市計画、建築史の分野について、さらに深く専門的に学びます。	3・後	30	2	○			○			○	
○		高度構造力学	不静定構造について、ラーメンの解析を中心に学びます。	3・後	30	2	○			○			○	
○		高度建築法規	建築関係法規の単体規定、集団規定、関連法規について、その趣旨を理解した上でより深く学びます。	3・後	30	2	○			○			○	
○		高度資格対策 1	建築に関連する資格について学びます。	3・後	30	2	○			○			○	
		○ 建築計画特論	2級建築士の学科試験の計画分野について演習を中心に学びます。	3・前	45	3	○			○			○	
		○ 建築構造特論	2級建築士の学科試験の構造分野について演習を中心に学びます。	3・前	45	3	○			○			○	
		○ 建築法規特論	2級建築士の学科試験の法規分野について演習を中心に学びます。	3・前	45	3	○			○			○	
		○ 建築士受験対策	2級建築士試験に対応した演習問題を中心に組みます。	3・前	75	5	○			○			○	
		○ 建築環境・設備特論	2級建築士の学科試験の環境・設備分野について演習を中心に学びます。	3・前	45	3	○			○			○	
		○ 建築生産特論	2級建築士の学科試験の施工分野について演習を中心に学びます。	3・前	45	3	○			○			○	
○		設計計画 1	実践的な課題を通して、総合的に建築の計画、設計手法について学びます。	3・前	45	1				○	○			○ ○
○		設計計画 2	実践的な課題を通して、総合的に建築の計画、設計手法について学びます。	3・後	45	1				○	○			○
○		建築CAD・CG 1	2・3次元CAD、建築インテリアCGを活用し、基礎から応用への技法を学びながら設計図面を作成します。	3・前	45	1				○	○			○
○		建築CAD・CG 2	2・3次元CAD、建築インテリアCGを活用し、基礎から応用への技法を学びながら設計図面を作成します。	3・後	45	1				○	○			○
○		特別演習 1	建築に関する実際の仕事に即した体験により、高度な専門技術を修得します。	3・前	30	1				○	○			○
○		特別演習 2	建築に関する実際の仕事に即した体験により、高度な専門技術を修得します。	3・後	60	2				○	○			○
		○ 実務演習 1	建築に関する実際の仕事に即した学習により、高度な専門技術を修得します。	3・前	300	10				○	○			○

	○	実務演習 2	建築に関する実際の仕事に即した学習により、高度な専門技術を修得します。	3・後	150	5				○	○		○			
	○	インターンシップ 1	企業での就業体験を通じて実践的な知識や技術、仕事に対する姿勢などを学びます。	3・前	300	10				○			○	○		
	○	インターンシップ 2	企業での就業体験を通じて実践的な知識や技術、仕事に対する姿勢などを学びます。	3・前	150	5				○			○	○		
	○	海外デザイン研修 3	海外におけるデザイン動向を現地で体験・学習します。	3・通	30	1				○			○	○		
	○	教養学 1 3	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 1 4	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 1 5	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 1 6	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 1 7	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 1 8	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 1 9	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 0	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 1	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 2	放送大学の指定科目を学びます。	3・前	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 3	放送大学の指定科目を学びます。	3・後	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 4	放送大学の指定科目を学びます。	3・後	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 5	放送大学の指定科目を学びます。	3・後	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 6	放送大学の指定科目を学びます。	3・後	30	2	○				○					○
	○	教養学 2 7	放送大学の指定科目を学びます。	3・後	30	2	○				○					○
○		高度建築設備	大規模な施設や特殊な建築物に応用される設備について学びます。	4・前	30	2	○				○				○	
○		高度建築生産	大規模建築物に応用される建築生産について学びます。	4・前	30	2	○				○				○	

○		高度資格対策 2	建築実務に必要な資格について学びます。	4 ・ 前	30	2	○			○	○		
○		高度資格対策 3	建築実務に必要な資格についてさらに高度に学び ます。	4 ・ 後	30	2	○			○	○		
○		設計計画 3	実践的な課題を通して、総合的に建築の計画、設 計手法について学びます。	4 ・ 前	45	1				○	○	○	
○		建築CAD・ CG 3	各種ソフトを使用してプレゼンテーション図面を 作成することを学びます。	4 ・ 前	45	1				○	○	○	
○		CAD・CG 制作	プレゼンテーション図面を作成する様々な手法に ついて学びます。	4 ・ 後	45	1				○	○	○	
○		特別演習 3	建築に関する実際の仕事に即した体験により、高 度な専門技術を修得します。	4 ・ 前	60	2				○	○	○	
○		特別演習 4	建築に関する実際の仕事に即した体験により、高 度な専門技術を修得します。	4 ・ 後	30	1				○	○	○	
	○	実務演習 3	建築に関する実際の仕事に即した学習により、高 度な専門技術を修得します。	4 ・ 前	150	5				○	○	○	
	○	実務演習 4	建築に関する実際の仕事に即した学習により、高 度な専門技術を修得します。	4 ・ 後	150	5				○	○	○	
	○	インターン シップ 3	企業での就業体験を通じて実践的な知識や技術、 仕事に対する姿勢などを学びます。	4 ・ 前	150	5				○	○	○	
	○	インターン シップ 4	企業での就業体験を通じて実践的な知識や技術、 仕事に対する姿勢などを学びます。	4 ・ 後	150	5				○	○	○	
	○	海外デザイン 研修 4	海外におけるデザイン動向を現地で体験・学習し ます。	4 ・ 通	30	1				○	○	○	
○		卒業制作	4年間学んだことを基礎に、都市、各種建築物等 の設計を中心にまとめます。	4 ・ 後	180	6				○	○	○	
	○	教養学 28	放送大学の指定科目を学びます。	4 ・ 前	30	2	○			○		○	
	○	教養学 29	放送大学の指定科目を学びます。	4 ・ 前	30	2	○			○		○	
	○	教養学 30	放送大学の指定科目を学びます。	4 ・ 前	30	2	○			○		○	
	○	教養学 31	放送大学の指定科目を学びます。	4 ・ 前	30	2	○			○		○	
	○	教養学 32	放送大学の指定科目を学びます。	4 ・ 前	30	2	○			○		○	
合計					118	科目	5925 単位時間(268 単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目2325時間(103単位)取得および選択科目を1200時間(46単位)以上 取得し、合計3525時間(149単位)以上取得すること	1学年の学期区分	2 期	
	1学期の授業期間	15 週	

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。